

公益社団法人日本ハング・パラグライディング連盟

2014年度事業報告

I 概要

今年度は、2014年ハンググライディング女子世界選手権で、日本人選手が世界チャンピオンになり、日本チームがチーム優勝、パラグライディング世界選手権で女子第2位、第4回アジアビーチゲームズでは、エアスポーツ・パラグライディング・アキュラシー部門で日本チームが第三位になるなど、日本人フライヤーの活躍がありました。JHFでは、安全と普及のための取り組みとして、3年に一度の教員検定員研修会を開催したほか、ハンググライダーのベテランパイロットを対象としたブラッシュアップセミナー、パラグライダーパイロットを対象とした全国安全セミナー、第3回JHFフォトコンテストを開催しました。

対前年比でみると、ハンググライダー技能証発行数は増加、パラグライダー技能証発行数は減少、有効フライヤー会員数は約1.5%の減少となっています。

1. 収支の現状

JHFの財務状況は単年度で見た場合、昨年度に続いて支出が収入を上回ることとなり、赤字財政となっています。この額は、昨年度に比べると縮小していますが、収入は13年度とほぼ同額ですので、施策にかけた資金規模が減ったこととなります。今後は、従来にも増してフライヤー会員増加に資する施策を行うとともに、さらに収支のバランスを図る運営が求められます。

JHFは費用総額のうちの約60%で直接的な事業を行っており、その内補助金などを除いた約35%は理事会で配分増減を決めています。必要な新企画や重点投資案件の経費については、ほかとのバランスを図りながら効果的な投入に務めてまいります。

2. 普及振興事業の実施等

- 1) 第3回JHFフォトコンテストを開催、126作品の応募がありました。



最優秀賞「眩しい空」 加藤文博氏

- 2) ハンググライダー・パイロットを対象にセーフティ・トーイングによるブラッシュアップセミナー（安全セミナー）を1回開催、パラグライダー・パイロットを対象にパイロットセミナーを全国10ヶ所で開催、204名が受講しました。
- 3) 教員検定員により、教員・助教員の知識、技能の維持向上を行うことにより、JHFフライヤー会員へ安全フライトに関する啓蒙活動を推進するために、教員助教員更新講習会を各地で開催し18カ所 141名が受講しました。
- 4) 教員検定会にて、9名が新しく教員になりました。（PG9名）

5) 教員検定員研修検定会を実施、検定員27名を選任しました。

3. 特記事項

- 1) 第37回鳥人間コンテスト選手権大会を協賛
7月26日(土)～27日(日) 滋賀県彦根市松原水泳場周辺
- 2) 埼玉スカイスポーツフェスタ2014に共催
10月12日(日) 埼玉県熊谷市妻沼滑空場
- 3) 第20回スカイスポーツシンポジウムを協賛
11月29日(土) 日本大学工学部・駿河台校舎
- 4) パラグライダー日本記録の目的地直線距離を更新
山崎能啓選手の目的地直線距離215.4km(ブラジル・キシヤダ～ボランガ)の記録が一般財団法人日本航空協会により承認
- 5) 平成26年度一般財団法人日本航空協会の航空関係者表彰式が開催され、航空スポーツ賞をハンググライディング(クラス1)女子世界選手権優勝の礪本容子氏、ハンググライディング女子世界選手権日本代表チーム:チームリーダー大沼浩氏、選手 礪本容子氏、野尻知里氏、桜井さやか氏、谷古宇瑞子氏、内田秀子氏、鈴木樹子氏が受賞。日本記録証を平木啓子氏(パラグライダー一般及び女性直接距離332km)に授与された。
- 6) 一般財団法人日本航空協会の航空スポーツ教室「スカイ・キッズ・プログラム」に愛知県フライヤー連盟が協力(2月15日)

II 事項別状況

1. 組織

- (1) 会員数
ア 正会員 47名
イ フライヤー会員 8,372名(2015年3月末有効登録数)
ウ 賛助会員 14名
- (2) 役員構成
理事 9名(内会長1名、副会長2名) 監事 2名(2015年3月末現在)

2. 会議等の開催

- (1) 総会
2014年 6月通常総会
開催通知 2014年4月21日(月)
開催日 2014年6月17日(火) 11:00～17:00
開催場所 東京体育館 第一会議室
(東京都渋谷区千駄ヶ谷)

議案	報告事項1	2013年度事業報告について
	報告事項2	2013年度決算報告について
	決議事項1	貸借対照表及び損益計算書の承認について
	報告事項3	2014年度事業計画について
	報告事項4	2014年度収支予算について

- (2) 理事会

ア	第1回理事会	開催日	5月13日(出:理事9、監事2)
イ	第2回理事会	開催日	9月3日(出:理事9、監事2)

ウ 第3回理事会 開催日 11月13日 (出:理事9、監事2)

エ 第4回理事会 開催日 3月 5日 (出:理事9、監事2)

文書理事会 開催日 4月4日、4月7日、4月16日、5月15日、5月28日、
6月9日、6月12日、7月30日、8月11日、8月12日、8月18日、
10月9日、11月27日、1月13日、1月27日(2件)、1月30日、
2月4日、3月13日

(3) 委員会

ア ハンググライディング競技委員会 競技会開催時に実施

イ パラグライディング競技委員会 競技会開催時に実施

ウ 補助動力委員会

エ 教員・スクール事業委員会 6/17、11/26、12/2

オ 安全性委員会 6/17、10/21

カ 制度委員会 11/27、1/21

キ ハングパラ振興委員会 5/20、2/24

ク 役員選任実行委員会

ケ 委員長理事合同会議 3/3

上記のほか電子メール会議を実施し、経費削減に努めた。

3. 事業の実施状況

(1) 普及振興活動

ア JHF レポートを発行(4月、7月、10月、1月)

(独立行政法人日本スポーツ振興センター・スポーツ振興くじ助成を受けて発行しています)

イ 都道府県連盟事業費の交付

ウ 日本学生フライヤー連盟へ助成金交付

(2) フライヤー会員登録

登録数: 2014年度 5,903人(新規・更新)

2013年度 5,841人

(3) 技能証発行

ア HG: 227枚 (2013年度 190枚)

イ PG: 1,040枚 (2013年度 1,111枚)

ウ MPG: 41枚 (2013年度 35枚)

エ レスキューリパック認定証 41枚 (新規8・更新33)

(4) 競技会の主催・公認・後援

ア HG: 15件 (内FAIカテゴリーI・II: 2件)

イ PG: 29件 (内FAIカテゴリーI・II: 3件)

ウ HG・PG同時開催: 5件

(5) 競技会の開催

ア HG:

1 日本選手権

2014年3月19日~23日 茨城県板敷山エリア

参加55人 日本選手権者: 大門浩二 女子: 礒本容子

2 ハンググライディングシリーズ

第1位 大門浩二 女子第1位: 野尻知里

3 ハンググライディングXCリーグ

第1位 田中元気

イ PG:

- 1 日本選手権
2014年10月10日～13日 岐阜県池田山エリア
参加73名 日本選手権としては不成立
総合・女子 第1位 平木啓子
- 2 アキュラシー日本選手権
2014年7月26日～27日 石川県獅子吼高原エリア
参加28名
日本選手権者：吉富周助 女子：伊藤まり子
- 3 ジャパンリーグ(参加人数93名)

オープンクラス	1位：成山基義
オープンクラス女子	1位：伊藤弥生
スポーツクラス	1位：田中 健
スポーツクラス女子	1位：高田奈緒

 ジャパン2リーグ(参加人数39名)
天候不良のため2大会不成立
クロスカントリーリーグ(72本) 1位：中里 勝
最長フライト 五位 淵孝幸(132.7km)
アキュラシージャパンリーグ(参加人数42名)

スクラッチクラス	1位：横井清順
スクラッチクラス女子	1位：伊藤まり子
ハンディキャップクラス	1位：横井清順
ルーキークラス	1位：大和田正昭

(6) スクール・エリア情報の収集及び公開

- ア スクールサイト登録校 150件 (うち新規登録校6件、削除4件)
イ エリア情報掲載 178件

(7) 海外関係団体活動

- ア CIVL総会 2015年2月21日～22日
セルビア 出席者：デレグイト 岡芳樹

(8) 世界選手権へのチーム派遣

- ア 第13回ハンググライダー女子世界選手権、第6回ハンググライダー・クラスV世界選手権、第1回ハンググライダー・クラスIスポーツクラス世界選手権
参加選手：13名
2014年6月21日～7月5日 フランス アヌシー
- イ 第20回ハンググライダー・クラスI世界選手権
参加選手：9名
2015年2月28日～3月 フランス アヌシー
- ウ 第14回パラグライダー世界選手権
参加選手：6名
2015年1月10日～24日 コロンビア ロルダニジョ
- エ 第4回アジア・ビーチ・ゲームズ
参加選手：4名
2014年11月12日～23日 タイ プーケット

(9) その他

- ア 機体型式登録 12件 (PG10件、HG2件)
イ 機体情報登録 0件 (PG)

添付： 2014年度 委員会等活動報告補足

以上

ハンググラディング競技委員会 委員長 板垣 直樹

- 1) ルールブックの改訂
- 2) WEB登録によるエントリーの簡素化
- 3) 委員会ホームページの運営
大会公認案内、エントリー案内等の更新は随時実施。
- 4) 2014年日本選手権開催（茨城・板敷） 2014年3月19日～23日
55名参加。タスク2本成立。日本選手権者：大門浩二 女子日本選手権者：礪本容子
2014年クラスV日本選手権開催（茨城・足尾） 2014年10月10日～13日 25名参加。
タスク3本成立。日本選手権者：板垣直樹
- 5) ハンググライディングシリーズ管理運営
参加人数 83名
1位：大門浩二、2位：田中元気、3位：鈴木博司
女子1位： 野尻知里
- 6) ハンググライディングXCリーグ管理運営
1位：田中元気（201. 32km）
- 7) ハンググライディング女子世界選手権・クラスV・クラスI スポーツクラス世界選手権（フランス
アヌシー）
2014年6月21日～7月5日
日本代表チーム（女子6名：礪本容子、野尻知里、桜井さやか、谷古宇瑞子、鈴木樹子、内田秀子。
スポーツクラス1名：岡田伸弘、クラスV6名：古坂学俊、山本剛、富原淳、塩野正光、太田昇吾、
小林正和、チームリーダー1名：大沼浩）を派遣
女子世界選手権者：礪本容子 国別：日本チーム 第1位
- 8) ハンググライディングクラスI世界選手権（メキシコ バジャ・デ・ブラボ）
2015年2月28日～3月13日
日本代表チーム（8名：砂間隆司、太田昇吾、大沼浩、鈴木由路、外村仁克、石坂繁人、牟田園明、
岡田伸弘、チームリーダー1名：北野正浩）

パラグライディング競技委員会 委員長 岡 芳樹

- 1) ルールブックの改訂
- 2) WEB事務局・ホームページ管理
- 3) 第14回パラグライディング世界選手権（コロンビア、ロルダニジョ：1月10～24日）へ選手派遣（男子5名、女子1名）（呉本圭樹、上山太郎、成山基義、植田真吾、平木啓子以上チームメンバー、個人参加で廣川靖晃）

総合1位：オノラン・アマー（フランス）、2位：ミハエル・マウワー（スイス）、3位：トルステン・シーゲル（ドイツ）、16位：呉本、49位：上山、67位：廣川、74位：平木、83位：植田、104位：成山

女子1位：福岡聖子（フランス）、2位：平木啓子、3位：ニコル・フェデレ（イタリア）

国別1位：ドイツ、2位：スロベニア、3位：スペイン、13位：日本

- 4) 第2回パラグライディング・アキュラシーアジア選手権（マレーシア、ラナウ：2014年3月12～19日）へ選手派遣（男子6名、女子2名）（横井清順、岡 芳樹、吉富周助、古賀光晴、水野良信、東武瑞穂、伊藤まり子以上チームメンバー、古田岳史（個人参加））

総合1位：タナパット・ルアンジャム（タイ）2位：マ・チャン（中国）、3位：マ・レイ（中国）、5位：吉富、7位：岡、9位：東武、10位：水野、14位：古賀、16位：横井、19位：古田、39位：伊藤。

女子1位：ナナパット・プチョン（タイ）、2位：東武瑞穂、3位：チャンチカ・チャイサヌク（タイ）、10位：伊藤まり子。

国別1位：タイ、2位：日本、3位：中国。

- 5) 第4回アジア・ビーチ・ゲームズ（タイ、プーケット：11月12～23日）へ選手派遣（男子4名）（岡 芳樹、川村 眞、古田岳史、小松理樹）

男子国別1位：韓国、2位：インドネシア、3位：日本

男子個人1位：ウィディアナント・トーマス（インドネシア）、2位：ウオン・ヨンモック（韓国）、3位：ハ・チキョン（韓国）、6位：川村、10位：岡、21位：小松、23位：古田。

- 6) Jリーグ、J2リーグ、XCリーグ、AJリーグ管理

・ Jリーグ結果（参加人数93名）

オープンクラス 1位：成山基義、2位：小幡洋三、3位：若山朋晴

オープンクラス女子 1位：伊藤弥生、2位：高田奈緒、3位：平木啓子

スポーツクラス 1位：田中 健、2位：高田奈緒、3位：川上輝峰

スポーツクラス女子 1位：高田奈緒、2位：山下敦子、3位：早坂真有美

・ J2リーグ（参加人数39名）

天候不良のため2大会不成立

・ XCリーグ（26名、72本）

1位：中里 勝（309.4km）、2位：二三四藤昭（288.3km）、3位：中目みどり（279.5km）

最長フライト：五位渕孝幸（132.7km）

・ AJリーグ（参加人数39名）

スクラッチクラス 1位：横井清順、2位：古賀光晴、3位：岡 芳樹

スクラッチクラス女子 1位：伊藤まり子、2位：柳井維都花、3位：内田 薫

ハンディキャップクラス 1位：横井清順、2位：古賀光晴、3位：小松理樹

ルーキークラス 1位：大和田正昭、2位：該当者なし、3位：該当者なし

- 7) 2014年度日本選手権開催（愛知県池田山エリア）2014年10月10～13日

タスク2本成立/4日 73人参加 規定により日本選手権として不成立。

総合1位：平木啓子、2位：上山太郎、3位：武貞伸明、4位：小幡洋三、5位：伊藤弥生、

6位：植田真吾

女子1位：平木啓子、2位：伊藤弥生、3位：高橋美佳

スポーツクラス1位：大橋直史、2位：是枝秀樹、3位：青木政昭

スポーツクラス女子1位：高橋美佳、2位：河村葉子、3位：中目みどり

8) 2014年度アキュラシー日本選手権開催（石川県獅子吼高原エリア）2014年7月26～27日

8ラウンド成立 28人参加 規定により日本選手権として成立。

総合1位：吉富周助、2位：横井清順、3位：水野良信、4位：岡 芳樹、5位：伊藤まり子、6位：古賀光晴

女子1位：伊藤まり子、2位：小川由希子、3位：菊田久美

ハンディキャップ1位：吉富周助、2位：横井清順、3位：水野良信

安全性委員会 委員長 桂 敏之

- 1) 運用経費の圧縮と効率的な運用を目的として、委員会の開催はメール通信による稟議で行った。
- 2) 安全セミナー開催・HGブラッシュアップセミナー（1箇所）、PG全国パラグライダーパイロット安全セミナー（10箇所）を開催した。
- 3) DHV・エアターコイズ・PMAへの訪問・調査を行った。
- 4) 事故調査と報告
- 5) 事故情報データベースの継続整備

教員スクール事業委員会 委員長 水野 良信、山谷 武繁

- 1) 教員検定員研修検定会にて教員検定員を選任（27名）
- 2) 教員検定会 PG9名 HG0名
- 3) HG、PG教本改訂の検討
- 4) 教員助教員更新講習会 18箇所 141名受講
- 5) レスキューパラシュートリパック認定証についての見直し
- 6) 安全セミナープログラムの作成（安全性委員会と合同）

制度委員会 委員長 小林 秀彰

- 1) JHFに関わる制度の定款、規約、規程、規則等の文書管理
- 2) 全国 クラブ、エリア登録規程の提案
- 3) スクールの登録規程の改訂提案

- 4) F A I 技能記章規程改訂（アキュラシー部門追加）の提案
- 5) F A I 技能記章交付規程の提案
- 6) F A I 技能記章申請書の提案
- 7) パイロットセミナーのテキスト作りに参加
- 8) ハンググライダーのテキスト全面改訂作業に協力
- 9) 公益財団法人日本体育協会の組織、保険の調査結果の報告

補助動力委員会 委員長 須藤 彰

- 1) 補助動力教本編集（最終段階）
- 2) 下総航空基地安全会同参加
- 3) 重大事故発生のため意見交換をした（高圧線等に引っかかる事故など）

ハングパラ振興委員会 委員長 井上 潔

- 1) 初顔合わせ会議（5月）
- 2) 遠隔会議環境の準備（各委員）
- 3) 学生との意見交換会（6月）
- 4) ハング女子世界選手権の報告会および祝勝会開催への協力（8月）
- 5) メディアへの情報提供（制作会社等からの問い合わせへ情報提供）
- 6) ハンググライダーのテキスト全面改訂作業に協力
- 7) ハンググライダーのパンフレット（紹介版）検討
- 8) パラグライダーのパンフレット（解説版）検討・作成
- 9) 学生向け就職セミナーの検討

役員選任実行委員会 委員長 荒井 稔

2015年役員選任の手続き、実施